

カトーファーム

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>カトーファームでは、気候変動への対策取り組みを行いながら、持続可能な農業生産に努めています。</p> <p>気候変動への取り組みの具体的内容としては、遮熱剤の活用による高温時の対応を行っています。</p> <p>持続可能な農業の取り組み例としては、微生物のバランスを保つために土作りに重点を置き、通常使用している土壤消毒剤を使用しないことを続けております（2013年から9年間継続中）。</p> <p>今後とも環境にやさしく、人に喜ばれる花生産とその幅広い情報発信を行って参りたいと考えております。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	8	有機質資材を投入し、物理性・化学性・生物性に富んだ豊かな土づくりを行うことで土壤の有用微生物を増やし、土壤消毒しなくても連作障害を起こしにくい、病気にかかりにくいほ場作りを行う。	<p>土壤消毒コスト削減割合 100%(2020年)→100%(2025年)を維持（土壤消毒無しを継続）</p> <p>土壤微生物多様性・活性値 90万以上の維持、または向上（2025年）</p>
	社会	4	（株）生科研による土壤分析を行い、適正な施肥量を計算することで過剰な肥料の投入を行わない。	<p>土壤分析の実施 1回/年（2025年まで毎年）</p>
環境	13、15	遮熱剤、遮光剤を利用することによりハウス内の高温を抑制し、電力機器を利用した高温抑制を行わない。	<p>遮熱剤又は遮光剤利用ハウス 全棟 約1500坪（2025年まで継続）</p>	